証券コード: 6178

そばにいるから、できることがある。

JP HOLDINGS 日本郵政

株主通信

2017年4月1日から
2017年9月30日まで

日本郵政株式会社

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

日本郵政グループは、2007年10月1日に民営化し、本年10月1日に10周年を迎えました。これまでご支援をいただいた株主の皆さまに対し深く感謝申し上げます。

この10年、私たちは様々な挑戦を続けてまいりました。直近の動きを取り上げてみても、ゆうちょ銀行では、超低金利政策が続く中で運用を更に深掘りし、かんぽ生命では、高齢社会に対応した保障性商品に注力しています。日本郵便では、電子メールの普及で郵便物の取り扱いが減る中、23年ぶりに、はがきの値上げにも踏み切りました。ただ、利用者の皆さまに値上げをお願いするだけではなく、「はこぽす」の設置など、利便性を高める施策も実施しています。また、JPタワーに代表されるような不動産開発事業も進めています。

2015年の株式上場も挑戦の一つでした。日本郵政、ゆうちょ銀行、かんぽ生命の3社は、世界的にも前例のない親子同時上場を果たし、真の民営化企業へと新たな一歩を踏み出しました。

また、本年9月11日には政府による当社株式の第2次売出しが公表され、9月29日にはプロセスを無事完了いたしました。第2次売出しに伴い、新たに多くの株主の皆さまをお迎えできたことを大変喜ばしく感じており、これからも民営化を前へ前へと進めてまいります。

2017年度は中期経営計画の総仕上げの年であります。厳しい経営環境の中ではありますが、まずは業績予想通りの結果が残せるよう、しっかり取り組んでまいります。

さらに、10年、20年先を見据え、企業としての一層強い成長戦略を描いていくことも私たちのミッションです。日本郵政グループには、全国約2万4千の郵便局ネットワークと郵便創業以来140有余年の長きにわたり培ってきたお客さまの安心と信頼という強みがあり、強みを最大限活かした成長戦略を練り上げる必要があります。現在、成長戦略を形にして株主の皆さまにお示しできるよう、次期中期経営計画についてグループ内で議論を進めております。

引き続き、チームJPとして全社一丸となって、株主の皆さまのご期待に応えるべく努力してまいる所存でございますので、日本郵政グループへの変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

日本郵政株式会社
取締役兼代表執行役社長　長門 正貢

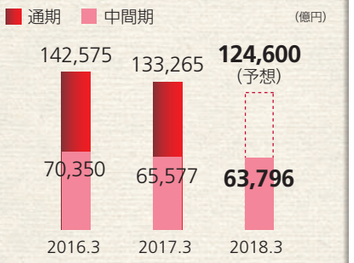
2018年3月期（中間）の業績について

- 日本郵政グループは、本年度をグループ中期経営計画の総仕上げの年と位置付け取り組んでおり、2018年3月期のグループ連結当期純利益4,000億円という業績予想に対し、中間期は、1,801億円（前年同期比＋20.3%）と順調に推移しております。
- 下期においても、郵便・物流分野では、成長著しい通販市場・eコマース市場を中心にゆうパック・ゆうメールの拡大等に取り組み収益改善を図り、金融2社では、依然として金利が低位で推移する厳しい経営環境の中でも、運用の多様化・高度化等により利益の確保に取り組んでまいります。

連結決算ハイライト　連結経営成績

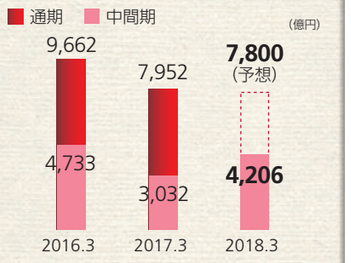
経常収益

63,796億円
（前年同期比 △2.7%）



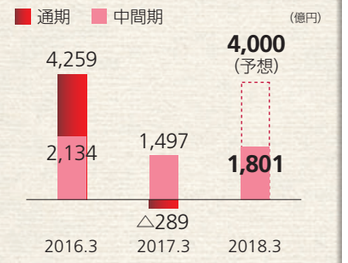
経常利益

4,206億円 UP
（前年同期比＋38.7%）



親会社株主に帰属する当期純利益

1,801億円 UP
（前年同期比＋20.3%）



事業別の概況

日本郵便

取り組みと概況　郵便物数は減少しているものの、ゆうパックの取扱数が増加したことにより収益は拡大し、それに応じた費用増や賃金単価上昇の中、コストコントロールにも努めたことにより、損益は改善しました。当中間期における業績は、通期見通しに対して順調に推移しております。

連結経営成績

営業収益	親会社株主に帰属する中間純利益	総取扱物数
18,317億円 UP	△171億円 UP	95.3億通・個
（対前年同期＋465億円）	（対前年同期＋116億円）	（対前年同期△1.6億通・個）

ゆうちょ銀行

取り組みと概況
金利が低位で推移するなど厳しい経営環境下にあるものの、業務粗利益は、対前年同期414億円増加の7,577億円となりました。また、中間純利益は、対前年同期305億円増加の1,815億円となりました。

経営成績

業務粗利益	中間純利益	単体自己資本比率(国内基準)
7,577億円 UP	1,815億円 UP	19.64%
（対前年同期＋414億円）	（対前年同期＋305億円）	（対前年同期△3.50%）

かんぽ生命

取り組みと概況
保障ニーズを重視した営業推進により、第3分野の新契約年換算保険料は増加しました。経常利益、中間純利益は対前年同期で増加し、連結ソルベンシー・マージン比率は、引き続き高い健全性を維持しております。

連結経営成績

経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益	連結ソルベンシー・マージン比率
1,688億円 UP	512億円 UP	1,207.7%
（対前年同期＋610億円）	（対前年同期＋87億円）	（対前年同期△82.9%）

連結財政状態

（単位:億円）

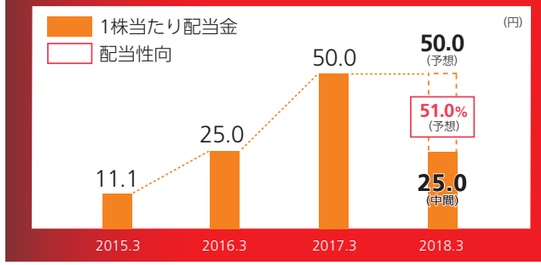
科目	2017年3月期（2017年3月31日）	2018年3月期(中間)（2017年9月30日）
資産の部	**2,931,625**	**2,917,034**
現金預け金	533,134	540,547
有価証券	2,023,205	1,985,243
貸出金	121,250	128,365
有形固定資産	32,063	32,105
無形固定資産	3,458	3,304
負債の部	**2,782,079**	**2,766,061**
貯金	1,780,043	1,782,613
保険契約準備金	725,251	712,349
債券貸借取引受入担保金	185,833	174,460
賞与引当金	1,019	1,303
退職給付に係る負債	22,791	22,882
価格変動準備金	7,887	8,175
純資産の部	**149,545**	**150,973**
株主資本	101,975	101,751
その他有価証券評価差額金	31,051	33,626
負債及び純資産の部	**2,931,625**	**2,917,034**

配当について

1株当たり配当金

50円

ポイント
2018年3月期末までの間は連結配当性向**50%以上**を目安としています。



財務情報の詳細は当社HP
「株主・投資家のみなさまへ」をご覧ください。

日本郵政 ▶ 株主・投資家のみなさまへ

通期業績予想に対する進捗状況

（単位:億円）

	2018年3月期 通期 業績予想	2018年3月期(中間) 経営成績	進捗率
経常利益	7,800	4,206	53.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	4,000	1,801	45.0%

あなたのそばで 日本郵政

日本郵便

ぽすくま

ぽすくまは日本郵便のキャラクターです。

©JAPAN POST Co., Ltd.

年賀はがき

今年もバラエティ豊かな新デザインの年賀はがきが登場しました。

年賀はがきは 1通 52円 のままだよ！※

©Disney ©'76, '17 SANRIO APPR. NO. G581479
© 2017 Peanuts Worldwide LLC

2018（平成30）年用年賀はがきの販売は2018年1月5日（金）まで。
（インターネット通販での予約・販売受付は2017年12月25日（月）まで。）

知ってる？ 年賀はがきのいろいろ

★お手軽年賀はがき★

新年のご挨拶にふさわしい絵柄と賀詞を印刷した「お手軽年賀はがき」を発売しています。日本郵便オリジナルデザインの商品を多数ご用意しています。

「となりのトトロ」もあるよ！

（となりのトトロ5枚組　630円）

★年賀印刷サービス★

お好きなデザインと差出人さまの住所氏名を年賀はがきに印刷して、ご自宅またはご指定の場所にお届けします。オプションで、便利で手間いらずの「宛名印刷サービス」もご利用いただけます。

※カタログでのお申込みは、2017年12月21日（木）まで、インターネットでのお申込みは2018年1月3日（水）17時までです。

LINEとの連携サービス

今年もコミュニケーションアプリ「LINE」を使った楽しい仕掛けをご用意しました。ご希望の年賀はがきを最低5枚から、ご希望の日にち・時間帯にお届けします。また、スマートフォンから写真をアップロードすると1,000種類以上の年賀状テンプレートに画像が合成され、簡単に年賀状のデザインが作成できます。

今年は、テーマごとにテンプレートが選べるセミオーダー機能を新しく追加しました。

※本サービスの予約・販売受付は2017年12月25日（月）までです。

ぽすくまとつながろう！

※LINEアプリを起動し、「友だち追加」で左のQRコードから友だち追加を行ってください。

※年賀はがきを52円で差し出すことができる期間は、12月15日から1月7日までです。1月8日以降は10円分の切手を貼り足してご使用ください。

ゆうパック

ゆうパックのサービス改善
身近で差し出し、身近で受け取り

一人一人のお客さまの荷物の差し出しやすさ、受け取りやすさを追求するため、サービスの再構築を行っていきます。実施予定のサービス改善施策は、次のとおりです。

①Web決済型ゆうパック

事前にクレジットカード等の決済方法を登録の上、スマートフォンを用いて発行した発送ラベルを荷物に貼付することにより、基本運賃よりも割安かつ簡単に郵便局等で発送できるサービスです。

②指定場所配達サービス

お客さまが不在の時にもゆうパックが受け取れるように、受取人さまが指定した場所（玄関前、車庫等）に配達します。

③配達希望時間帯の拡充

帰宅時間にあわせて受け取れるように、現在の配達希望時間帯に「19時～21時」を追加した7区分にします。

④歩いて5分で受取可能なアクセスポイントの整備

東京、千葉、埼玉、神奈川の主要都市部を中心に、歩いて5分の範囲にアクセスポイントの整備を目指します。受取人さまの多様なニーズにお応えするため、郵便局ネットワークの活用やコンビニ、駅のコインロッカー、商業施設等とのコラボレーションにより、概ね6,000箇所の受取施設を実現します。

⑤郵便局等受取ポイント付与サービス

通販・ECサイトから差し出されるゆうパックを郵便局等（郵便局、はこぽす、コンビニ）で受け取ることでポイントを付与するサービスを開始します。

2017年10月から、全国でサービス提供開始

大切なご家族の毎月、毎日のみまもりをサポート

みまもり訪問サービス

月額2,500円（税抜）

月1回郵便局社員等がご利用者宅などへ直接訪問します。ご利用者の生活状況はご家族などのご指定いただいた報告先へご連絡します。生活状況は「7項目＋選べる3項目」で、ご利用者の状況に応じた確認ができます。

みまもりでんわサービス

固定電話コース：月額980円（税抜）
携帯電話コース：月額1,180円（税抜）

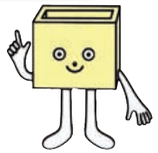
毎日指定された時間帯に自動音声電話をお掛けし、利用者の体調確認結果を、報告先にメールでお知らせするサービスです。

駆けつけサービス（オプション）

ご家族向け：月額800円（税抜）
ご本人向け：月額1,800円～3,100円（税抜）

ご家族からの要請で駆けつける「ご家族向け」と、事前に機器をお渡しし、緊急時に操作すると駆けつける「ご本人向け」の2プランをご用意。

お客さまの資産形成をこれまで以上にご支援していきます



ゆうちょ銀行
投資信託キャラクター
ますますくん

ゆうちょ銀行

「つみたてNISA」はゆうちょで！

ゆうちょ銀行は、2018年1月4日（木）から「つみたてNISA」の取り扱いを開始します。

つみたてNISAでは、毎年40万円（最長20年間で最大800万円）までの投資額から得られる分配金（普通分配金）や譲渡（売却）益が非課税になります。ゆうちょ銀行では、「つみたてNISA」にふさわしい商品ラインアップとして、初めて投資をお考えのお客さまや、長期でコツコツと積み立てられるお客さまに、安心してご購入いただけるよう、シンプルでわかりやすく、またコストも低い水準のものを厳選しました。

さらに、2018年1月4日（木）から、つみたてNISA口座を開設し、つみたてNISA対象商品をご購入いただいたお客さまを対象に、「つみたてNISAキャンペーン」を実施します。

詳しくはウェブをご覧ください。

かんぽ生命

新商品
“医療特約 その日からプラス”
“新ながいきくん 低解約返戻金プラン”
“長寿のしあわせ”の販売開始

医療の進歩にあわせた
“医療特約 その日からプラス”

保険料の負担を抑えた終身保険
“新ながいきくん 低解約返戻金プラン”

長生きした場合の年金の受取額を大きくした
“長寿のしあわせ”

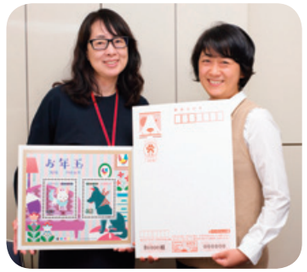
かんぽ生命保険は、社会環境や経済環境等の変化とお客さまニーズの変化を踏まえ、各種の商品開発に取り組んできております。

今年度は、医療技術の進歩による入院日数の短期化や外来の手術の増加、低金利環境の継続、平均寿命の延伸等による長寿化の進展などの環境の変化とお客さまニーズを踏まえ、医療保障の充実、低金利環境下での商品性の魅力維持、高齢期における生活資金の準備手段の提供を目的として、2017年10月2日（月）より、上記の新商品を販売しました。

かんぽ生命保険は、今後もお客さまのニーズにお応えする商品・サービスを提供してまいります。

詳しくはウェブをご覧ください。

「ちょっとした驚きで喜びを届けたい」



切手・葉書室
切手デザイン担当 課長
貝淵 純子

切手・葉書室
切手デザイン担当 係長
星山 理佳

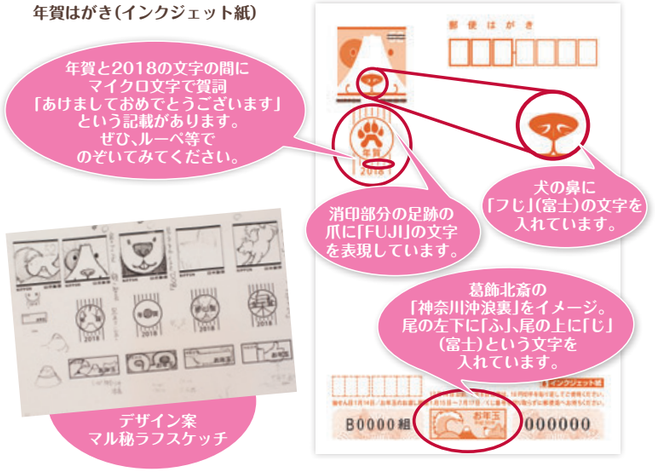
Q 年賀はがき表面の切手デザインはどのように決まるのでしょうか？

A 日本郵便の切手デザイナーが、切手・葉書室 葉書企画担当と話し合い、その年の干支のテーマに沿ったデザインの下絵を描いていきます。年賀はがきは発行種類が多いので、全部で50パターンくらいの案を毎年考えています。それらをアンケート等で絞り込み、法務の担当部署によるチェックも受け、最終のデザインが発行会議で決定します。

Q 2018年の年賀はがきのデザインのポイントは？

A 年賀はがきには、料額印面、消印部分、くじ部分があり、それら3点をあわせて関連性のあるデザインにしています。

年賀はがき（インクジェット紙）



Q 2018年のお年玉切手シート（年賀はがき当選切手）のデザインもされたとのことですが、特徴を教えてください。

A 従来は、その年の年賀切手がお年玉切手シートとなっていたのですが、2017年より年賀以外でも使用できるようなオリジナルのデザインのお年玉切手を作成しています。
こちらもいくつかの仕掛けを用意していますので、お年玉切手シートが当たった際には、ぜひ、探してみてください。

お年玉切手シート

「和の食文化シリーズ 第3集」82円切手シール式（シートで販売）

Q 最後に、株主の皆さまへ一言お願いします。

A 今後も、皆さまにくすっと笑っていただけるような切手デザインを考えていきたいと思いますので、これからも、手紙文化を大事にしていただけたら嬉しいです。

日本郵政株式の第2次売出しについて

政府による当社株式の売出しは、東日本大震災の復興財源として役立てられます。

ポイント

- 政府は、本年9月11日に当社株式の第2次売出しを公表、9月29日に売渡しを完了し、売却手取金約1.3兆円を計上
- 当社は、株主還元強化等を目的に、9月13日、約1,000億円の自己株式の取得を実施
- 政府は、これら一連のプロセスにより約1.4兆円の売却手取金を計上し、2015年11月の新規株式公開時とあわせて約2.8兆円の復興財源を確保

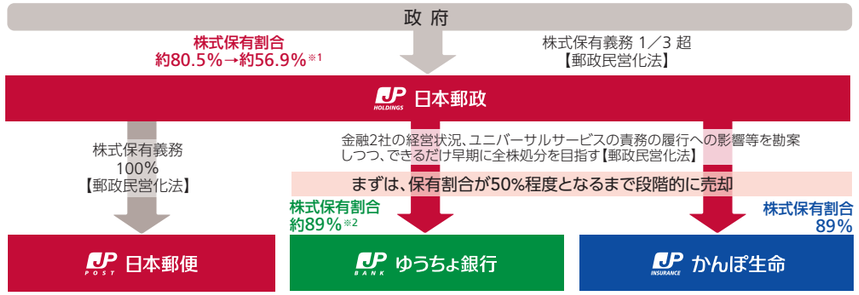
本年9月11日、政府は、当社株式の第2次売出しを決定・公表し、これに伴い当社も取締役会において普通株式の売出しを決議いたしました。そして、9月25日には売出価格等を決定、9月29日に売渡しを完了いたしました。

また、当社は、第2次売出しにあわせて自己株式の取得を決定し、9月13日に取得を終了いたしました。これは、株主の皆さまへの還元を強化するという目的とともに、今後の政府保有株式売却に係る株式需給への影響を緩和する観点から実施したものです。

政府は、これら一連のプロセスにより1兆3,985億円の売却手取金を計上し、「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」における復興財源として、新規株式公開時の約1.4兆円とあわせて約2.8兆円を確保しました。

当社としては、郵政民営化の推進、復興財源への貢献のため、政府による当社株式の売出しに適切に対応するとともに、更なる株主価値の向上に資するよう取り組んでまいります。

グループ経営体制



※1　発行済株式総数に対する保有割合

※2　自己保有株式を除く議決権株式に対する保有割合

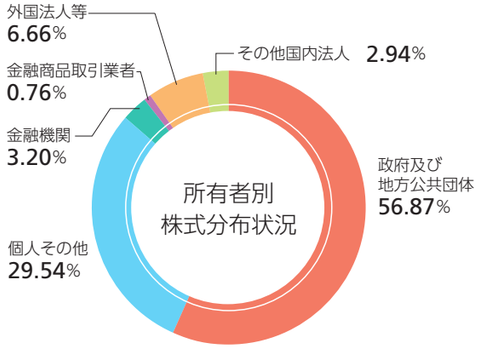
日本郵政

会社概要

名　　称	日本郵政株式会社 （URL:http://www.japanpost.jp/ ）
本社所在地	〒100-8798 東京都千代田区霞が関一丁目3番2号
電話番号	03-3504-4411 （日本郵政グループ代表番号）
資本金	3兆5,000億円
設立年月日	2006年1月23日
設置根拠法	日本郵政株式会社法 （平成17年10月21日法律第98号）
事業内容	グループの経営戦略策定

株式の状況（2017年9月30日現在）

発行可能株式総数	18,000,000千株
発行済株式総数	4,500,000千株
株主総数	749,551名



※自己名義株式の単元株式数は「個人その他」に含んでいます。

■ 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
配当金受領株主確定日	毎年3月31日及び 中間配当を行うときは毎年9月30日
公告方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
証券コード	6178
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
1単元の株式数	100株

■ 株式に関するお手続きについて

お手続き、ご照会の内容に応じて、下記のいずれかの窓口にお問い合わせください。

- 郵便物等の発送と返戻に関するご照会
- 支払期間経過後の配当金に関するご照会
- その他株式事務に関する一般的なお問い合わせ

上記のお問い合わせ先	
お問い合わせ先	三井住友信託銀行株式会社
郵便物の送付先	〒168-0063　東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
電話番号	日本郵政専用ダイヤル 0120-580-840（フリーダイヤル） （受付時間 土曜日・日曜日・祝祭日を除く9時から17時）
インターネットホームページURL http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html	

- 上記以外のお手続き、ご照会等は、口座を開設されている証券会社にお問い合わせください。

■ CSR活動

JP子どもの森づくり運動

「東北復興グリーンウェイブ」記念植樹イベントを開催

日本郵政グループは、2008年から特定非営利活動法人「子どもの森づくり推進ネットワーク」が取り組む森づくり体験プログラムに賛同し、毎年多くの幼稚園・保育園の園児が参加する「JP子どもの森づくり運動」を支援しています。

また、2012年からは、東日本大震災の被災地支援活動として、「JP子どもの森づくり運動『東北復興グリーンウェイブ』」を展開しています。この活動は、東北の幼稚園・保育園・こども園の園児が拾ったドングリを、全国の園児が大切に育て、3年目の春に育てた苗木を郵便ネットワークを通じて被災地に送り、グリーンウェイブの日（5月22日）に東北の緑の復興の願いを込め、被災地の園児が苗木を植えるものです。日本全国の園児たちが“ドングリの絆”で結ばれ「共生の心」を育んでいます。

岩手県山田町で今年開催された第4回の植樹会では、地元の保育園・保育所の園児45人が参加し、全国各地から戻ってきた約210本の苗木を豊間根（とよまね）地区の苗畑に植樹しました。園児たちは「大きくなあれ」と声をかけながら“緑の復興支援”に元気に取り組みました。

「JP子どもの森づくり運動『東北復興グリーンウェイブ』」は、国連生物多様性の10年日本委員会（UNDB-J）の連携事業として認定されています。

第4回植樹会の様子（2017年5月、岩手県山田町）

JP子どもの森づくり運動の仕組み

1年目

森で種を拾う活動

子どもたちが最寄りの森や公園でドングリを拾い、プランターに植えます。

2年目

園で苗木に育てる活動

プランターから出た芽が、大きな苗木になるよう、大切に育てます。

3年目

森に植える活動

みんなで一生懸命育てた苗木を、最寄りの森や公園に戻し、植えます。

日本郵政

日本郵政株式会社
〒100-8798　東京都千代田区霞が関一丁目3番2号
TEL 03-3504-4411（日本郵政グループ代表番号）

UD FONT
VEGETABLE OIL INK
FSC www.fsc.org ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C013080